

あっぱれ 優拍手!

小学生

- ふるさとの田んぼと水 子ども絵画展 2019
団体賞水土里ネット理事長賞 並木柗治
- JA交通安全ポスターコンクール
日本農業新聞会長賞 濫谷奏多
- 香取郡市書写展覧会
優秀 柳下真名美、麻生桃香
- 香取小中学校体育連盟 優秀選手表彰
平山悠人(久賀小)、清水憂梨菜(中村小)、
石井陽色(第一小)、山崎杏里(第一小)、
野平紗和(第一小)、山崎蒼海(第一小)、
飯田優里菜(第一小)
- U13/U16 Long-Distance Run
2位 小4・小5女子800m
飯田優里菜(第一小)
- 成田市文化祭柔道大会
3位 小6男子の部 五木田翔生
- 成田空港周辺児童書道・絵画展(絵画部門)
銀賞 熱田百香

中学生

- 千葉県アンサンブルコンテスト東部地区大会
銀賞 木管八重奏、金管六重奏
ブラスバンド部
銅賞 金管四重奏、打楽器三重奏
ブラスバンド部
- オリンピック杯争奪陸上競技大会
2位 男子共通200m 加瀬剛壯
- 千葉県U-13ソフトテニス選手権大会
郡市予選会
3位 個人戦 **県大会
出場**
櫻井悠貴・菅澤侑仁ペア
- 香取小中学校体育連盟 優秀選手表彰
石井紗理奈(剣道部)
山倉和華(陸上部)
- 千葉県子どもの人権ポスター原画コンテスト
優秀賞 岩畑悠
- 栗山川汚染防止ポスターコンクール
優良賞 宮本小暖
- 税の作文・標語【作文の部】
香取地区教育委員会連絡協議会長賞 前林正登
多古町長賞 信太優菜
- 税の作文・標語【標語の部】
優秀賞 大倉菜々佳
- 香取郡市書写展覧会
優秀 伊藤陽菜、卯田夏蓮
特選 篠塚宗之介、柳下真穂、林歩美
金賞 及川日向、信太優菜、津島伊月、
伊藤優杏、飯田莉々、行方敬祐、
岩畑悠、菅澤遙那
- 銀賞 大塚翔月、橋本蓮太郎、高山心、
並木柗治、櫻井悠貴、前原僚太、
鈴木理希

町長日誌 (11月1日～30日)



1日	朝礼 課長会議 令和2年度予算編成説明会 補正予算査定(12月定例議会提出)
5日	(株)多古役員打合せ 町民体育館前時計贈呈式
8日	職員採用二次試験
9日	多古高校鶴陵祭 多古中学校バザー
10日	大宮大神七五三祝いの合同祈願祭
11日	千葉県町村会第2回定例会(千葉市)
13日	保育士採用試験 圏央道建設促進協議会要望活動 (国土交通省・参議院議員会館ほか)【写真①】
14日	多古町議会議員視察研修(北海道三笠市、千歳市)
16日～18日	補正予算査定(12月定例議会提出) 都市計画審議会 (株)多古役員会
21日	成田国際空港航空旅客数11億人達成記念式典(成田市)【写真②】
22日	日本共産党千葉県委員会 中嶋副委員長から災害支援金受領 自衛隊より防衛白書の説明
23日	いきいきフェスタ TAKO2019【写真③】
27日	全国町村長大会(東京都渋谷区) 関東町村会海外行政調査報告会(東京都千代田区)
28日	第2回区長会議
29日	課長会議
30日	近隣小学校駅伝大会【写真④】



【写真①】



【写真②】



【写真③】



【写真④】

地域の身近な 相談役

新しい民生委員・児童委員のご紹介

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された、誰もが安心して暮らせる地域づくりのために、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役です。

Q どういった活動をしているの？

A 高齢者や障がいがある方の福祉に関すること、子育てなどの不安に関する相談や支援を行います。

Q どんな時に相談したらいいの？

A どこに相談すればいいかわからない、生活に関する悩みや不安、ご近所で気になることがあれば、地域の委員までご相談ください。

◆民生委員・児童委員名簿

氏名	担当地域
平山 幸治	大原内・新町・仲町
萩原 茂	堀之尻
植田 敏男	田町・本町
大矢 新市	高根・飯新
平山 高弘	高野前・切通・居射・豊田
田中 秀幸	多古台
大木 信一	島・広沼
與風 邦子	船越
土屋 浩子	牛尾
小川美江子	水戸・林・千田
鶴見 隆	染井
佐久間邦彦	喜多・五反田
萩原 克彦	間倉

氏名	担当地域
菅澤 豊彦	飯笹
岡田 牧夫	五辻
鈴木 良信	つつじヶ丘団地
森川 信夫	一鎌田
岡村 達也	次浦
大木 数万	西古内・台作・井戸山
津島 正	高津原・大門
増田 英夫	御料地・大穴
横山 克実	十余三
小川 清治	桧木・出沼
並木 稔雄	川島・方田
八木 利夫	塙・柏熊
及川 浩三	坂
宇井 武雄	南玉造

氏名	担当地域
大川 孝志	宮本
佐藤 文子	宿・芝・新田・横宿・高田・西谷・東谷
押田 明裕	北場・神行・久保・坂並・白貝
濫谷 肇	宮・谷津・南和田・鴻の巣
宇佐美 仁	南並木・南借当

◆主任児童委員

氏名	担当地域
加瀬 行祥	多古町全域
鎌形 育代	多古町全域

任期：令和元年12月1日
～令和4年11月30日

※本三倉、谷三倉については、保健福祉課へご連絡ください。

お問合せ●保健福祉課福祉係 ☎ 76-3185

Book

49年目



『世界がもし100人の村だったら』
再話：池田香代子
対訳：C.ダグラス・ラミス
発行：マガジンハウス

(あらすじ)

中学校に通う長女の担任は生徒たちに毎日メールで学級通信を送るすてきな先生。そんな先生が生徒たちにあるメールを送る。絵本仕立てで平和へのメッセージも添えられた作品。

今回紹介した本は、町立図書館に置いてあります。リクエストにもお応えしますので、お気軽にご利用ください。

■町立図書館 ☎ 79-3406
開館時間：
午前9時～午後7時
(日曜日は午後5時まで)
休館日：毎週月曜日・祝日

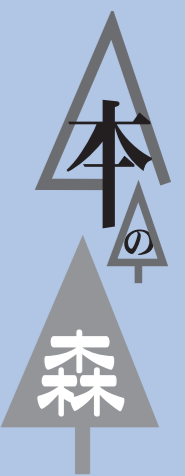
私はもともと本を読むのが好きで、たくさん本を読んでいます。今回紹介する本は朝の読書タイムで読む本を探していたときに目に止まり読んでみようと思いました。

世界がもし100人の村だったら、100人の中でこれだけの人がこうなんだということが分かり、ご飯が食べられない人や学校に行けない人など、世界のいろいろなことが自分の身近な問題に感じられました。また、世界で今起きていることが理解でき、社会的なことにも関心をもてるようになりました。そして、世界にはこれだけ大変な思いをしている人がいる一方、自分はすごく幸せなんだと思えるようになりました。特に印象に残ったところは、あとがきの部



本植人：藤崎 悠那さん(栗田)

分の「もしあなたが今朝、目覚めた時、健康だなと感じることが出来たら：あなたは今週生き残ることができないであろう100万人の人たちより恵まれています。もしあなたが戦いの危険や、投獄される孤独や、獄門の苦悩、あるいは飢えの悲痛を一度も経験したことがないのなら：世界の5億人の人たちより恵まれています」ここを読んだときに、自分が悩んでいたことなんてすごくちっぽけなことでも自分よりも苦しい思いをしている人が世界にはたくさんいるんだと思ったら、スツと楽になりました。自分がいろいろ悩んでいる時に、この本を読んで楽になれたので、皆さんの中でも悩みを抱えている方がいたらぜひ読んでほしいです。



「私の一冊」
『世界がもし100人の村だったら』